

小学校・幼稚園に書籍を寄贈。地域とのつながりを大切にしている。



「環境ビジネスのプロ」として、誰もが誇りと喜びを実感できる職場づくりを目指す

株式会社越村商店

委員会活動による ワークライフバランスの推進

産業廃棄物の中間処理、回収とリサイクルを主な業務とし、循環型社会の一端を担う株式会社越村商店。「従業員満足度を高めなければ会社の真の成長はない」という考えから、ワークライフバランスの実現を経営方針として掲げている。

社員の自主的な取り組みを応援する風土と、経営方針に基づき、社員が必ず参加する社内委員会（ISO、HP、レクリエーション等）が結成されており、ワークライフバランス委員会も設置されている。同委員会はいくつかの、各部門へのワークライフバランスに関する情報提供や委員会が実施した社員満足度調査結果のフィードバック、経営方針発表会における施策の提言等を実施し、各部門における取り組みを促してきた。その結果、社用携帯電話宛での連絡を上司に全て転送することで、営業部門の社員の1週間の連続休暇取得や、男性社員が妻の出産に合わせ、1週間の連続休暇を取得できるよう職場で配慮する等、委員会の努力によりワークライフバランスへの理

解が少しずつ浸透している。

多様な人材が 活躍できる職場づくり

会社としては、ワークライフバランスの取り組みを通じて、人手不足への対策も推進している。例えば、今年度新たに設置した「庶務・業務部」は、各部門の業務過多などの状況を把握し、適性を考慮しながら社員の配属先を柔軟に変更し、業務の平準化を図る役割等を担っている。さらに、採用業務も担当し、新たに新入社員向けの個人面談を実施。当社を選び入社してくれた社員を育成し定着させたいという考えからだ。

2018年8月から毎週木曜日の午後を全店舗休業日にするるとともに、全社員が出社することにより、各部署で課題解決やミーティング、経営理念やマナー等をテーマとした社員研修を行う時間とした。羽布津忍執行役員庶務・業務部部長は「業務が増える一方で、人手不足で個々の社員の負担が増えているからこそ、社員のためにどこかで『余裕』を作りたい。そして、社員教育等を実施することで、サービスの質の維持や向上につなげたい」と話す。

業務効率化にも積極的に取り組んでおり、その一例が、タブレット端末の導入だ。回収業務を担う社員が外出先でも必要な情報を入手できるようになり、加えて報告書の作成業務も簡素化され、負担が軽減された。

さらに、多様な人材が活躍できる会社を目指して、女性や短時間しか働けない方や高齢者、障がい者の方と一緒に働くことが

できるよう、「業務の細分化」を実施。例えば、重量がある物（新聞や雑誌等）の仕分け業務と軽量な物（事務用品等）の仕分け業務を分けて、後者を女性や高齢者の方が担当。さらに、県内各地の資源物持込みステーション「もってきまっし」の設置をきっかけとして、これまでならば、4tトラックで大量の資源物を一度に運搬していたが、女性社員が安心して運転できるワンボックスカーを導入し、細かく回収業務を行うようにした。年々回収量が増加し事業が好評だったことから、この事業部門を分社化し「株式会社りゆうす」を3年前に設立。短時間勤務を希望する女性や高齢者の方が主役となる職場を作った。このような取り組みから、近年、特に女性社員が増加したほか、障がい者の方も雇用。「ワークライフバランスの取り組みは残業を減らす、休日を増やすことだけではない。社員一人ひとりが抱えている事情や価値観に合った働き方を選択できるようにしたい」と羽布津部長は話す。

地球を守る「環境ビジネスのプロ」として、社員が誇りや喜びを感じられるように、同社ではこれからも働きがいのある職場作りを推進していく。



ワークライフバランス委員会に所属し、取り組みを進める羽布津部長

DATE

所在地 金沢市湊1丁目29番地2

代表者 越村 正人

設立 1978年

従業員数

115名（男：85名／女：30名）

事業内容

資源リサイクル業、産業廃棄物中間処理、産業廃棄物収集運搬